



子供たちにたくさんのご声援をいただき、ありがとうございました

ナイスラン！持久走大会終了。



11月26日(木)、校内持久走大会を開催しました。曇り空でしたが、気温はそれほど低くもなく、走りやすい天候になりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染が全国的に広がる中での大会となり、例年よりも間隔を開けて待ち、直前までマスクをするなど、感染予防策を講じた上での実施となりました。下関市内で感染が広がっていない状況の中、開催できたことをうれしく思います。

当日、子供たちに温かい声援を送っていただいた皆様、大変ありがとうございました。私も

少しばかり子供たちと走りましたが、皆様のご声援をととてもうれしく思いました。

長距離走は「自分との戦い」と言われるように、身体の持久力だけでなく、自分の弱い気持ちに負けない精神力が大切となる競技です。そして、努力すれば必ず成果が表れてくる競技です。これからも寒さに負けずに外遊びをしながら、より積極的に体力づくりに励んでほしいと思います。

(持久走終了後には6年生がすてきなパフォーマンスを披露しました。次回にお知らせする予定です)

新型コロナウイルス感染拡大防止の取組について

■ 11月中旬までに確認した感染症予防の変更点

- 1 体育の時間、運動中以外は、マスクを着用すること
- 2 友達と一緒に登下校する時はマスクを着用すること
(熱中症の心配がなくなったことによるものです)

11月から全国的に感染が拡大し始めたことや、マスクの着用がインフルエンザの予防にもなることから、改めて左の事項を児童に指導しています。ご家庭でもご理解いただき、あわせて手洗いの習慣化についてもご指導をお願いします。

また、5・6年生は家庭科の授業で中断していた調理実習を始めています。事前の計画を管理職や栄養士等が確認し、実施後には報告を受ける等、万全を期していきます。(6年1回目終了・5年は近日)

ところで、市内小学校のインフルエンザの感染状況ですが、11月初旬に数名が罹患した後は、現在まで発生していないようです。長成中学校や本校の保健室でも、体調不良による来室者は例年に比べてかなり少なく、マスク着用と手洗いに効果があるのでしょうか。子供たちの良い習慣が続きますように。

【校長室の窓から】▼私にとって長府小の持久走大会は4回目になりますが、子供たちの頑張る姿にいつも元気をもらいます。▼毎年このコーナーに書いていますが、私は小学生の頃、走るのが遅くて持久走大会の日は休みたいぐらい嫌な日でした。そんな私が50年近く経った今、なぜか走っています。7年前に走り始め、ハーフマラソンも何度か走ることができました。▼子供たちの可能性は無限大です。50年前の白澤君のように走るのが苦手な子も、どうなるかわかりませんよ。

おめでとう！

■ 下関市人権に関する標語

佳作 4年 田中 結偉
「怖いのは患ることより
心ない言葉」

佳作 6年 田中 大稀
「見てるだけそんな自分は
もうやめる！」